



図1. 督姫関連系図 (芹澤香代子 作成)

北条氏直は家康の嫡子として、天正十八年(1590)に開城し、氏直と氏直叔父氏照は切腹した。氏直は家康の嫡子として、天正十八年(1590)に開城し、氏直と氏直叔父氏照は切腹した。

はじめに
小田原北条家五代当主北条氏直と徳川家康の娘督姫(良正院)との間には二人の娘があったと伝われます。
関西・中国地方の督姫と関係の深い寺院に娘たちの供養が現在も続いていることがわかります。

北条氏は関東最大の領国を築くも、勢力を増す豊臣秀吉との戦いに敗れ、天正十八年(1590)に開城し、氏直と氏直叔父氏照は切腹した。氏直は家康の嫡子として、天正十八年(1590)に開城し、氏直と氏直叔父氏照は切腹した。

北条氏直と二人の娘 縁了院殿肖像画と摩尼珠院位牌について

芹澤 香代子



第285号
発行所 小田原史談会

腹。氏直は家康嫡であったことから、助命され高野山に蟄居となります。
家康の働きかけもあり翌天正十九年(1591)に氏直は秀吉より赦免され豊臣家臣となりますが、その直後十一月に疱瘡のため三十歳で死去します。
督姫は二人の娘を連れて実家徳川家に帰り、文禄三年(1594)に元織田家家臣、池田輝政に再嫁しました。
そのような関係から娘たちの消息は、督姫の孫池田光仲が藩祖となる鳥取藩池田家の史料の中に残されていました。

小田原北条の会で井原市へ私には小田原で生まれ育ち、二宮次郎さんと小田原北条氏は地域の偉人として親しみを持っていました。北条氏を勉強するきっかけは、小学生になったころ「まんが日本史」から戦国時代に興味を持ったことです。一緒に歴史番組を見たり、御用米曲輪の見学会や講演会にも足を運ぶようになると、私が夢中になっていました。
小田原北条氏といっても、はじめは北条家の女性に気がなりました。理由は、幼馴染の家が三代北条氏康妻の瑞溪院開基の寺院であったこと。また、以前勤めていた職場が北条五代祭り督

| | |
|--------------------|------|
| 二百八十五号(令和八年四月号) | 目次 |
| 北条氏直と二人の娘 | 1 |
| 芹澤 香代子 | 1 |
| 北条幻庵宗哲について | 8 |
| 浅川 徹 | 8 |
| 講演録 | |
| 小田原史談会創立七〇周年記念セミナー | |
| 永祿・天正期の今川、徳川氏と北条氏 | (下) |
| 久保田 昌希 | 15 |
| 小田原史談会 令和八年「初詣」 | |
| (武蔵御嶽神社と) | |
| 吉川英治記念館(青梅市)を巡る | 25 |
| 鳥越 銑之助 | 25 |
| 令和八年度「年次総会、講演会」 | お知らせ |
| お知らせ | 7 |
| 歴史七団体合同展示会 | 御案内 |
| 御案内 | 14 |
| 小田原史談会セミナー予告 | 14 |
| 新会員紹介 | 24 |
| 会員募集 | 24 |
| 賛助団体・落穂集 | 28 |